

安全・安心まちづくりNews 第236号

春から小学生になるお子さまが いらっしゃる保護者の方へ



身を守る5つのポイント

いかない



はなれる

最低でも両手を広げたくらいの距離をとろう。

のらない



ことわる

「いやだ!」「やめて!」などと、はっきり伝えよう。

おおごえでさけぶ



おおきなこえ

周りの人に聞こえるように、大きな声で助けを呼ぼう。

すぐにはげる



にげる

「子どもSOS」の家やお店以外にも逃げ込める場所を見つけておこう。

しらせる



つたえる

何があったのか、おうちの方や大人に話をしよう。

入学前に整えておこう

通学路の点検：

お子さまと通学路を歩き、子どもSOSの家、逃げ込めるお店の場所、危険な場所（人が潜みやすい場所や、見通しの悪い場所等）などを確認し、身を守るためのポイントを話し合っておきましょう。

~~~~~

#### 防犯機器の活用：

防犯ブザーや見守り用GPS機器を利用することも大切です。電池切れやエラーが発生していないか、使い方の確認もお忘れなく。

～地域のかで子どもを守ろう～

子どもだけになる“瞬間”が犯罪被害リスクが高まる傾向にあります。「子どもが、一人になる瞬間をなるべく減らすこと」こそが、子どもの防犯対策上の重要な取り組みです。

見守りや防犯ボランティア等の活動は、子どもたちの犯罪被害リスクを低減させるための大きな力です。子どもの登下校時間帯の見守りが効果的です。ぜひ、〇〇をしながらの見守り活動を！

香川県警察 安全・安心アプリ  
「ヨイチポリス」



登録は  
こちら

スマートフォンに不審者情報や防犯情報が通知されます。